

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



笑顔いっぱい

～みんな一緒にこいのぼりあげ!～
(紹介は12ページ)

2017.5
No.
521



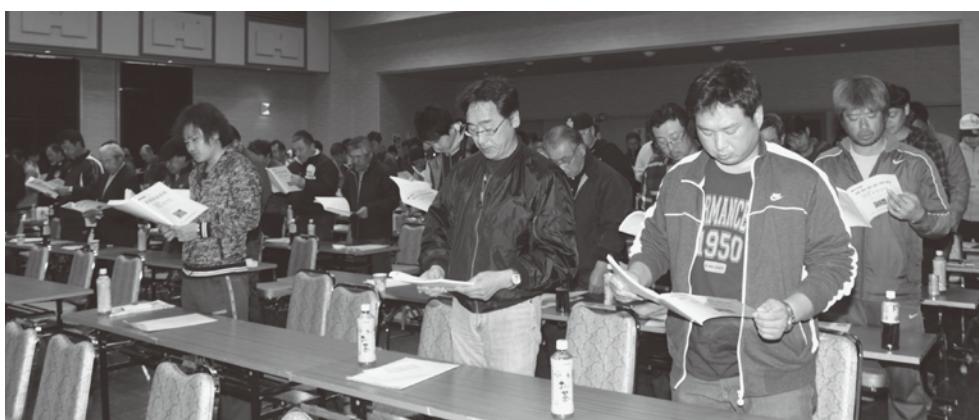
常呂町農業協同組合の第69回通常総会が4月7日、常呂町多目的研修センターで組合員161人（正組合員254人中／本人議席108人、委任23人、書面30人）出席のもと開かれ、全議案が原案通り承認されました。



開会挨拶を述べる
小野寺組合長

総会は定刻9時に開会宣言が行われ、その後、出席者全員でJA綱領を朗唱し始まりました。開会にあたり小野寺俊幸組合長は、昨年の作況状況などに触れ、「8月中旬から連続して接近・上陸した台風による記録的な大雨と堤防の決壊により、農作物の流出や農地の流失、土砂の堆積や施設の損壊など甚大な被害となりました。28年度は第8次常呂町農業振興計画のスタートの年でありましたが大変残念な結果となりました。この様な中、大きな災害の年ではあります

たが、28年度の農畜産物取扱高は組合員各位の惜しみない営農努力の結果、計画対比110%となりました。主な事業の実績ですが、信用事業は組合員を始め地域利用者のご協力のもと、年度末の貯金残高は計画対比104%、共済事業は組合員各位のご協力と広域推進により、新契約高は計画対比124%。購買事業は系統利用の有利性を発揮すると共に、組合員の事業結集により供給高は計画対比103%の実績となりました。以上経過から当期剰余金1億5百万円を計上することは、組合員各位のJAへの「集の賜物」と感謝の言葉を述べました。



JA綱領を朗唱する組合員の皆さん

効率化・合理化へ向け 29年度農協事業スタート



議長就任挨拶を述べる関根さん(左)、所さん(右)



系統を代表し祝辞を述べる
今成木クレン北見支所長



祝辞を述べる
辻北見市長



祝辞を述べる
塚本道議会議員



祝辞を述べる
船橋道議会議員



特別決議(案)を読み上げる
川上副組合長



監査報告を行う
今橋代表監事

また農協改革について「農業者の所得向上のための農業改革は農協改革へと変質しており、過去にも地域生産を無視した准組合員制度の在り方や員外者への利用規制について提言がされたことから、再び事業運営の根幹に係る准組合員の利用規制論が議論されることが予想されます。また、一昨年網走市においてジャガイモシロシストセンチュウが国内で初めて確認されたことから、土佐公園用地の一部を譲り受け、車輪洗浄施設を新設し、地域内への病害虫侵入と拡散防止に努めて参ります。農業の原点に立ち返り消費者から支持される農業の確立と財務基盤の強化、経営事故発生予防にむけた事業運営を目指し、

さらに各事業の伸長と一層の効率化・合理化に取り組みます」と決意を示し、さらに「組合員の営農と生活を守るべく役職員一丸となり鋭意努力する所存ですので組合員の皆様のご協力ご支援をお願いします」と述べました。

引き続き、来賓を代表し辻直孝北見市長、今成貴人木クレン北見支所長、船橋賢二・塚本敏一両北海道議会議員より祝辞を受けた後、議長に根隆博さん(富丘地区)、副議長にJAところ青年部の所尚玄部長を選任し、議案審議に入りました。

議案は、議案第1号の定款の一部変更を始めに、平成28年度事業報告と決算報告、役員選任規程の一部変更、



今年もオブザーバー席が用意されました

29年度の事業計画設定などの議案が提出され、全ての議案が原案通り決定されました。その後、JA北海道大会の決議事項の着実な実践に関する特別決議(案)を当JAの川上和則副組合長が力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

最後に小野寺組合長の閉会挨拶の後、11時10分に閉会宣言し、全ての日程を終了しました。

高品質な 南瓜生産目指し

～常呂町南瓜生産組合～



●総会へ出席した組合員の皆さん

常呂町南瓜生産組合（高橋光明組合長）は4月5日、第4回通常総会をJJA会議室で開き、組合員12人が出席しました。

開会にあたり高橋組合長が生産実績及び事業実施内容を含めた挨拶を行い、引き続き、



開会挨拶を述べる
高橋組合長

来賓の当JJA猪野間信夫理事から祝辞が述べられました。その後、高橋組合長が議長を兼任して議案審議に入り、慎重審議の結果、提出された全議案は満場一致で原案通り可決決定されました。

平成28年度は重労働となる収穫作業対策として、JAで電動収穫用はさみを取得し、組合で利用致しました。

平成29年度に向けて、「栽培技術体系の確立」、「集出荷体制の確立」などがあげられ、今後、より一層高品質な南瓜生産に向けた事業計画となりました。



●出席した盟友の皆さん

常呂町農民同盟（梅田俊則委員長）は4月11日、JJA会議室で第69回通常総会を開き、盟友17人が出席しました。

開会にあたり、梅田委員長は「昨年度は相次ぐ台風の上陸により、今までにない災害に見舞われた受難の年となつた。また、政府の設置した規制改革推進会議の提言は、組勘制度の廃止など、現場を無視した内容で受け入れ難い。今後も当同盟は、地区農連・道農連と連携し、要請活動などを行って参りたい」と挨拶を述べました。

引き続き、来賓のJJAとこう川上和則副組合長、北見市の辻孝宗常呂自治区長、北見地区農民連盟の佐藤廣幸副委員長の3人の方々から祝辞を頂き、川上副組合長は「近年の農政は、

関係機関との連携図り 農政活動をより活発的に

～常呂町農民同盟～



開会挨拶を述べる
梅田委員長

TPPにおいてはアメリカの離脱ということも一安心したところであったが、2国間協議の中でもかなり圧力をかけてきていた。これからも農政活動など、JJAと協力して行って頂きたい」と激励の言葉を述べました。

総会は、議長に林伸昌さん（岐阜地区）を選出し、平成28年度の運動経過報告と収支決算報告、平成29年度の運動方針及び収支予算案が審議され、全議案とも原案通り承認されました。

遊休タオル 180枚寄贈

J A ところ女性部（岡田真理子部長）は4月14日、北見市社会福祉協議会常呂支所へ遊休タオルの寄贈を行いました。部員が家庭から持ち寄ったタオルは、段ボール2箱分の180枚になり、当日は岡田部長、田渕春美副部長、今橋祐子副部長が施設を訪問。同協議会の松平樹人副会長へタオルを手渡しました。

寄贈されたタオルは、北見日赤奉仕団を通じて町内の施設、学校などに配布されます。

J A ところ女性部では、今後も活動の一環として継続して取り組んで参ります。



タオルの寄贈後記念撮影
(左より田渕副部長、今橋副部長、岡田部長、松平副会長)



花壇整備を終え笑顔の今橋副部長、
田渕副部長、岡田部長(左より)

J A ところ女性部2役による農協事務所前の花壇整備が4月14日に行われました。

今年も色とりどりのパンジーとビオラの花が咲いておりますので、近くにお寄りの際は、是非ご覧になって下さい。

常呂町4Hクラブ（羽石遼祐会長）は4月11日、第40回新規就農者激励会をJA会議室で開き、新規就農者4人とクラブ員16人、来賓の当JA川上和則副組合長、北見市辻孝宗常呂自治区長、網走農業改良普及センター黒丸隆太郎次長、ほか関係者6人が出席しました。

激励会は、4Hクラブ網領朗唱後、川上副組合長から「4Hクラブは、農業の基礎などを学び、色々な経験をする組織です。先輩方や他地区のクラブ員と交流を行い知識を吸収してこれから常呂町農業の発展に向けて頑張ってほしい」と挨拶がありました。

また、新規就農者とクラブ員、関係機関の自己紹介後、「手押し相撲」のレクリエーションが行われ交流を深めました。

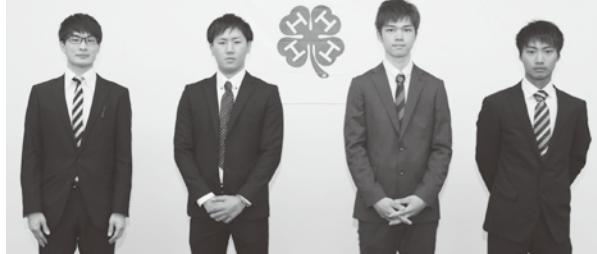
若い芽を育てるクラブ目指し

激励会終了後には、環境美化運動の一環としてクラブ員全員で栄浦地区の「ミニブリッヂ」を行いました。

また、今年度加入了規就農者は以下の通りです。
(敬称略)

〔4Hクラブ新規加入者〕
久世 達也(和徳) 岐阜
植松 和希(孝雄) 福山
麻畠 大(秀喜) 共立
鈴木 一元(篠くまがわ)
日吉

第40回新規就農者激励会



新しく4Hクラブに加入した久世達也さん、麻畠大さん、植松和希さん、鈴木一元さん(左より)



クラブ員みんなで栄浦地区のゴミ拾いを行いました

より良い営農に向けて

「家族経営協定合同調印式で3組が締結」

JJAといふは3月28日、JJA会議室で家族経営協定合同調印式を開き、岐阜地区の寺町隆夫さん、小野寺亮一さん、共立地区の中島稔さんの3家族が、JJAオリジナル様式の『JJA型家族経営協定書』に調印、締結しました。

家族経営協定は、農業経営に携わる世帯員が、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。調印式では、当JAの小野

寺俊幸組合長、北見市の辻孝宗常呂田治区長、網走農業改良普及センターの阿部秀幸所長が同席し、各家族の調印に立ち合いました。

小野寺組合長は、式の冒頭挨拶で「家族みんなで協力し合い、お互いの理解をもとに協定を結ぶことは非常に意義がある。少しずつ見直しながら作り上げてほしい」と述べました。

調印が終わったあと、辻常呂自治区長から「家族経営協定は、家族が話し合うためのルール。今後の我が家のスローガンをもとに家族みんなが活躍されることを期待したい」と、また、阿部所長からは「非常に具体的で信念がある。家族経営の良いことを残しつつ目的を見据えた経営を行ってほしい」と、それぞれ激励の言葉が3家族に贈られました。締結した家族からは「これからきっかけに家族で話し合いを強化し、よりよい営農につなげたい」と笑顔で話しました。



● 厳肅な空気の中、調印式が行われました

収量・品質ともにさらなる高みを目指して

「小豆栽培講習会」

常呂町小豆生産組合（林靖士組合長）は3月30日、平成29年度小豆栽培講習会をJA会議室で開き、組合員24人が出席しました。

網走農業改良普及センターの菅野千尋専門普及指導員を講師に招き、平成28年産の気象経過や生育経過と平成29年産に向けた注意点についてお話をいただきました。注意点

平成28年産小豆は相次いで上陸した台風の影響もあり、収量減となってしましましたが今回講習会で学んだことを活かし、本年産は高収量・高品質を目指します。

オホーツク総合振興局が管内の農業青年を対象に表彰を行っている「優良農村青年」に、本町から富丘地区的佐野彰洋さんが今年度受賞され、4月10日にオホーツク農業委員会連合会会長から表彰盾が贈呈されました。

この賞は、オホーツク管内の管内の農業青年を対象に過去3年以上農業の担い手として従事し、農業技術の普及・推進・グループ活動に対して指導力のある農業青年を表彰しているものです。

今後とも地域のリードとして、更多的な活躍を期待致します。



● 受賞した佐野彰洋さん



● プロジェクターを使用し注意点などが説明されました





スイーツ作りのポイントを説明する秦さん

担当手として農業のいろはを学ぶ「みのりセミナー」は、今回、常呂産の原料にこだわり、町内でケーキやお菓子を作っている「スイーツせぞん」の秦昭彦さんを講師に招き、お菓子作りを行いました。

パンケーキの生地を一から作り焼いたり、その生地を使ったフレンチトーストを調理。付け合せには秦さんが作った苺のジャムやブルーベリーなどが飾られました。

受講生は「今回の講習内容はとても勉強になりました。また機会があれば別のスイーツを学びたい」「すごく美味しいので家でも作りたい」と感想を話しました。

JJAといいは3月29日、第5回みのり

セミナーを「ファーマーズハウスみのり」で行い、受講生12人が参加しました。

農業体験の浅い女性農業者が農業の

担い手として農業のいろはを学ぶ「み

のりセミナー」は、今回、常呂産の原料

にこだわり、町内でケーキやお菓子を

作っている「スイーツせぞん」の秦昭彦

さんを講師に招き、お菓子作りを行い

ました。



分量もしつかりと量り、みんなで協力し合って準備OK



みんなで楽しく作業に励みました

地場産材料でスイーツ

みのりセミナー



車を買うならJAで!

C-HR



●C-HR S-T 4WD 2,540,160円(税込)~
●C-HR HYBRID S 2WD 2,674,080円(税込)~

TOYOTA

SUZUKI

新型 WAGONR

HYBRID

マイルドハイブリッド搭載



*搭載価格には登録諸費用は含まれておりません。

●ワゴンR HYBRID FZ 4WD CVT 1,470,960円(税込)~
●ワゴンR FA 4WD CVT 1,202,040円(税込)~

Photo:ワゴンR HYBRID FZ



SUBARU 新型 XV 登場



●XV 1.6i-L EyeSight AWD CVT 車両本体価格 2,381,400円(税込)~
●XV 2.0i-L EyeSight AWD CVT 車両本体価格 2,624,400円(税込)~

SUZUKI
CARRY

JA特別
パッケージ



売れています!!

お支払い総額 99.9万円~

KKCU-L2 4WD/5MT

取得税・重量税・自賃費・積み料・法定費用・登録手続代行料・リサイクル料金・リサイクル資金管理料・すべて含む

御用命は資材課(54-3066)まで!



馬鈴薯栽培講演会行う!



JJAとJINの主催の「馬鈴薯栽培について」の講演会が4月10日、JJA会議室で国立大学法人帯広畜産大学グローバルアグロメティシン研究センターの谷昌幸教授を講師に招き、組合員32人出席のもと行われました。

同大学においては、カルビーポテト(株)と共同研究を実施しており、「馬鈴薯栽培における三要素施肥の適正化とカル

シウム施肥」について、主に世界情勢をはじめ町内生産者土壤診断結果を参考にした事例など、多岐に渡り出席者が聞き入るような講話をして頂きました。今後の課題としては「加工用馬鈴薯栽培における収量や品質を施肥改善や土壤改良によって向上させていくためには、適正な三要素施肥管理を徹底した上で、カルシウム施肥を積極的に進める

必要がある」と述べられました。

今後の馬鈴薯栽培に向けての貴重な講演会となりました。

**馬鈴薯栽培における注意点・今後の課題などについて話す
谷教授**



農作業の効率化へ向けた取り組み



ト農業の基礎について講演を頂きました。第2部は「可変施肥について」と題し、(株)岩崎企画調整部企画開発グループ金子和真課長代理より、レ

料の散布を行う技術の説明がありました。

(佐藤文彦会長)は4月10日、スマート農業基礎講習会をJJA会議室で開き、会員24人が参加しました。

講習会は、2部形式とし、第一部は「スマート農業の基礎知識」と題し、ホクレン北見支所農業機械課高田健太係長よりトラクターの自動操舵システムに必要なRTK-GPS基地局の必要性とスマ

ト撮影により、雑草などを見分けピンポイントで除草剤を散布する技術などの説明もありました。

近未来と思っていた技術もすでに近くで活用されていました。スマート農業の技術が遅れないよう、今後も講習会を開催して参りますので、皆さ



の参加をお待ちしております。



上段:開会挨拶を述べる佐藤会長
下段:24人の会員が参加して開かれた講習会



真剣に講演を聞く出席者のみなさん



ドイツではイギリスよりも少し遅れて産業革命が起りました。やがてドイツの農村にも貨幣経済の波が押し寄せ、商人の収奪が横行する中、資金を年率100%という法外な金利で貸し付ける「高利貸し」に頼らざるを得ない状況となり、さらによるとあわせて凶作が発生するといつた悪循環に陥っていました。

こうした惨状を目撃したライファイゼンは、すすんで富裕者の寄付を仰ぎ、慈善組合を作つて困っている人に食糧を与えていたり貸付を行つたりしましたが、すぐに事業は行き詰まってしまいました。ライファイゼンは失敗した原因を考えた結果、人に頼り切るのではなく、何よりも自助の精神が基本になければならないと悟ったのです。こうしてライファイゼンは1862年に初めての農村信用組合を作りました。

この農村信用組合は高利貸しに対抗するための仕組みとして、組合員相互が無限責任を負う（他の組合員の債務を連帯保証する）ことで信用力を高めな

F・W・ライファイゼン
(1818~1888年)
ドイツの農村信用組合の創始に尽力した。



ドイツではイギリスよりも少し遅れて産業革命が起りました。やがてドイツの農村にも貨幣経済の波が押し寄せ、商人の収奪が横行する中、資金を年率100%という法外な金利で貸し付ける「高利貸し」に頼らざるを得ない状況となり、さらによるとあわせて凶作が発生するといつた悪循環に陥っていました。

こうした惨状を目撲したライファイゼンは、すすんで富裕者の寄付を仰ぎ、慈善組合を作つて困っている人に食糧を与えていたり貸付を行つたりしましたが、すぐに事業は行き詰まってしまいました。ライファイゼンが引用したといわれる「人は万人のために、万人は一人のために」という言葉は今も生き続けているのです。

こうした信用事業を核とした総合事業の発想は日本の産業組合、現在の農業協同組合のモルルになったといわれています。ライファイゼンが引用したといわれるのは「人は万人のために、万人は一人のために」という言葉です。

今こそJA!

～その意義と役割～

Vol. 4

皆さん
宜しくお願ひ
します

新採用 職員紹介

①出身地 ②最終出身校 ③趣味・特技
④今後の抱負 ⑤自己PR



ばば のぞむ
馬場 望 平成4年10月生(24歳)

- ①北見市
- ②北見工業大学大学院
- ③体を動かしジムに行くこと
トランプのマジック
- ④右も左もわからない状態ですが、まずは人の名前と顔を覚えて行きたいと思っています。最終的には自分の顔も覚えていただき、地域の方や周りの職員から信頼される存在になりたいと考えています。
- ⑤決して能力は高い方ではありませんが、結果が出るまで納得がいくまで粘り強く取り組む力はあると思っています。どうか厳しいご指導のほどよろしくお願い致します。



うすい しんご
白井 槟吾 平成6年10月生(22歳)

- ①北見市常呂町
- ②札幌学院大学
- ③カーリング・音楽鑑賞
- ④相手の立場になって考え、行動する事ができ、思いやりやおもてなしの心を形にして相手に届けることができる職員になりたいです。
- ⑤スポーツや生徒会を通じて人とのコミュニケーションをとってきました。多くの職員や組合員の皆さんと会話をし、交流を深めることができます。



やまだ しゅんや
山田 瞬也 平成9年10月生(19歳)

- ①北見市
- ②北海道農業協同組合学校
- ③洋画鑑賞・スキー
- ④今年度から1年間滋賀県にあるタキイ研究農場付属園芸専門学校で学んできます。みなさんと一緒に仕事をさせていただくのは来年度からになりますが、一つでも多くのことを学んで役に立てるよう頑張ります。
- ⑤高校時代は野球をやっており、体力には自信があり、最後まであきらめないと心を持っています。



わかまつ あやね
若松亜弥音 平成9年1月生(20歳)

- ①滝川市
- ②拓殖大学北海道短期大学
- ③読書・寝ること・食べること
- ④仕事の内容を早く覚えるように努め、組合員の方々の名前と顔も早く覚えていけるようにしたいです。
- ⑤いろんな方と仲良くなれる自信があるので、常呂町でたくさんの方と仲良くやっていると思います。



わたなべ ゆずき
渡邊 柚祈 平成10年10月生(18歳)

- ①北見市
- ②北海道留辺蘗高等学校
- ③歌うこと・タイピング
- ④高校を卒業して、まだまだ覚えることがあります、少しでも早く仕事を身に付け、組合員の皆様から信頼される職員になりたいです。
- ⑤声と元気の良さは人一倍持っています!!いつも明るく、挨拶は大きな声で元気よくします。これからたくさんのご指導をよろしくおねがいします!!

退職のお知らせ

この度、4月をもちまして退職致しました。
平成の年4月に入組し、経営相談課、資材課、畜農企画課、そして最後に管理課と20年に亘り勤めさせて頂きました。何かと至らぬ私でしたが、組合員の皆様をはじめ役職員の皆様の温かいご指導のもと多くのことを学び、有意義に過ごさせて頂きおもしたことを心から感謝致しております。今後もこの貴重な経験を活かして頑張りたいと思っております。

最後になりましたが、組合員の皆様、役職員の皆様の末永い健勝といえ幸並びに常呂町農業といふ多幸並びに常にご発展をご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせて頂きます。20年間本当に世話をになり、誠にありがとうございました。



管理部管理課 主査
原田 春枝



生産部販売課
若原 健司



新緑の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度私事でござりますが、一身上の都合により、4月30日をもちまして退職致しました。

3年間という短い期間でございましたが、皆様の温かいご指導、ご厚情に支えられながら今日まで努めることができました事を心から厚くお礼申し上げます。



● 豊川地区

最後になりましたが、皆様のご健康といふ多幸を「祈念申し上げ、退職の挨拶と致します。誠にありがとうございました。

今回の移動農事相談では、昨年、作物を圃場還元した場合の施肥対応や耕起作業、5月下旬までの各農産物の管理作業のポイントについて重点的に網走農業改良普及センター・JAより説明を行いました。

又、農作業事故が起きる要因から、事故防止に向け、機械の改良、作業環境の改善、安全な行動を行うよう呼びかけました。

今回の移動農事相談各地区全体で114戸の参加(参加率78%)となりました。

常呂町スポーツセンターでは道具を何でも貸していただけるので、私の好きなスポーツであるバドミントンをして楽しみました。運動をしていい汗をかくこと、ストレスを解消することができます。皆さんも常呂町スポーツセンターで日頃の運動不足解消の為、何かスポーツをしてみたらいかがでしょうか?



● バドミントンで汗を流す佐久間職員(右)

JAといれば、本年度第1回目の移動農事相談を3月21日から22日、30日の3日間、各地区8会場で行いました。

JAといれば、本年度第1回目の移動農事相談を3月21日から22日、30日の3日間、各地区8会場で行いました。

JAといれば、本年度第1回目の移動農事相談を3月21日から22日、30日の3日間、各地区8会場で行いました。

JAマンコーナー

発信No.41



J A職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。

行事予定表

5月1日(月)～5月31日(水)

5月 3日(水)

憲法記念日

5月 4日(木)

みどりの日

5月 5日(金)

こどもの日

5月 6日(土)

閉組日

5月13日(土)

閉組日

5月20日(土)

閉組日

5月22日(月)

職員研修旅行～26日

5月27日(土)

閉組日

5月28日(日)

農休日

5月29日(月)

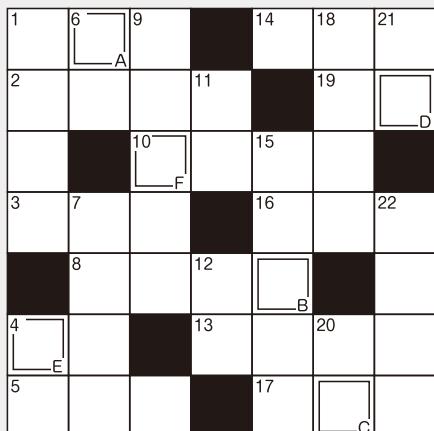
第4回定期理事会

第2回理事会報告

- 道常例検査指摘事項に対する改善状況などの報告について
原案の通り報告することで承認されました。
- 定款の一部改正について
原案の通り一部改正するとともに、総会に付議されることで承認されました。
- 全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意について
原案の通り同意し、総会に付議することで承認されました。
- 第69回通常総会の招集について
原案の通り招集することで承認されました。
- 第1回地区別懇談会の開催結果について
懇談会に出された意見・要望事項について審議されました。
- 給与規程の一部改正について
原案の通り一部改正することで承認されました。
- 労働保険事務組合手数料の設定について
原案の通り設定することで承認されました。
- 資金貸付に伴う農協と理事の契約について
原案の通り貸付することで承認されました。
- 固定資産の取得について（100万円以上）
平成29年度事業計画に基づき、次の固定資産を取得することで承認されました。
○名称 冷蔵1号冷凍機圧縮機交換工事
○事業費 1,800千円
○業者 三菱ビルテクノサービス（株）

〈報告事項〉

- 平成28年度決算監査報告について
- 自己査定結果報告について
- 職員研修旅行の実施について
- 職員の採用について
- 組合員の資格変更・加入・脱退について
- 農業委員会開催報告



Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？

タテのカギ

- 井戸などでくみ上げて使います
- 土を小高く盛り上げたもの
- 人がたくさん住んでいます
- 車に乗って出掛けます
- 孫悟空の乗り物です
- 中国の○○に由来することわざは多い
- まき割りや枝打ちに使う刃物
- 東南アジアの国。首都はクアラルンプール
- 人を怒らせることを「○○○○に触れる」ともいいます
- インドから伝わる心身調整法
- 太陽や星がよく見える天候
- 台所であることの一つ

ヨコのカギ

- 端午の節句に食べます
- 映画の撮影時にカチンと鳴らします
- 人事○○○で所属部署が変わった
- 二つで1組のものを数えるときに使う言葉
- 初節句に○○○飾りとこいのぼりを用意した
- 野球の走者のこと
- 家を留守にする際は忘れずに
- 袖振り合うも○○○○の縁
- チョウの仲間。カラス、アオスジといえば
- ボルトやナットを回す道具
- すし屋の符丁で茶のこと
- 布地を裁断した物

先月の当選者・解答

4月号のまちがい探しの答えは、
「2、3、7、9、12」でした。

抽選の結果、次の方々が当選しました。
おめでとうございます。

今橋 丈さん(富丘)

石田 結子さん(富丘)

梅田 陽子さん(岐阜)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。

抽選で、粗品をプレゼントします。

★毎月たのしみに
クイズを兄弟でやってます！
(富丘地区・今橋 丈さん)

★まちがい探し、クロスワードパズルをやるのが楽しいです。
(富丘地区・石田 結子さん)

★作業場に住み着いた猫がなついて
しまい、抱いて仕事になりません。
(岐阜地区・梅田 陽子さん)

読者の声



衛生面に配慮し調理しました



多くのお客様へ軽食が提供されました

役員と各組織より協力を頂いて行い、小麦粉は常呂産きたほなみを使用。小豆・男爵も常呂産にこだわりました。衛生面にもこだわり、調理担

うえるキッチンスタジオ運営協議会（小野寺俊幸会長）は3月31日、ファーマーズハウスうえるで1日限定の喫茶『うえるカフェ』をオープンし、組合員家族、関係機関など65人がお客様として訪れ賑わいました。このカフェは、うえるの活用と地産地消を目的としたもので、今回初の試みとなりました。

調理・配膳ともに運営協議会の担当者たる私たちは、手袋の着用を徹底し、調理開始。パンケーキと芋団子入りお汁粉を作り、パンケーキは統一性を図るために牛乳パックを切って輪にしたものに生地を流し込み成形。小豆と生クリームを混ぜたクリーム、ハチミツを添えました。お汁粉も小豆を一から煮て、砂糖と塩で絶妙な甘さに整えたものに、芋団子を入れま

うえるカフェ 1日限定オープン

当者はヘアキャップ・マスク・

した。
また、配膳は青

年部・4Hクラブのイケメンが担当

するなど力を入れ、

多くの方で賑わい

をみせ、大盛況の

うちに終了となり

ました。来場者からは「う
れるに入ったこと
がなかつたけれど
とても綺麗で、パン
ケーキやお汁粉な
ども大変おいしか
った。またこういっ
た機会があれば来たい」と話しました。



パンケーキと
芋団子入りお汁粉



フォークとナイフを上手に使う子供たち

うえる 活用して
みませんか

運営協議会では、皆さんのうえるご利用をお待ちしております。少人数から最大で20人収容でき、料理教室のほか、会議の場としてもご利用頂けます。ご予約は、JAところ営農企画課（54-2121）まで！

編集後記

- 春の蒔き付けが始まり、大変お忙しい毎日をお過ごしのことだと思います。農作業事故には十分に気を付けて頂き、笑顔の秋が迎えられますことをご祈念致します。
 - 4月の人事異動で新体制となり、誌面でご紹介の通り新しい職員も増えました。気持ちを新たに、今後も親しみやすい広報誌を目指して参りますので、これからも「光と風の大地」を宜しくお願ひ致します。
- 《営農企画課：広報担当》

笑顔いっぱい

みんな一緒に
こいのぼりあげ！

今月号の「笑顔いっぱい」は、岐阜地区の山口晃希くん（5歳）和輝くん（3歳）とおじいちゃんの岡田均さん（62歳）とおばあちゃんの真理子さん（59歳）にご登場いただきました。

晃希くんと和輝くんは車が大好きで最近は「新幹線変形ロボシンカリオン」にはまっています。2人に均さんは「健康で元気に育ってほしい」、真理子さんは「こいのぼりの様にすくすく育って兄弟仲良くこれからも遊んで欲しい」と笑顔で話してくれました。